

▼ダラザレックス点滴静注 [注]

【重要度】 【一般製剤名】ダラツムマブ（遺伝子組換え） Daratumumab（Genetical Recombination） 【分類】多発性骨髄腫治療薬〔ヒト型抗 CD38 モノクローナル抗体〕

【単位】▼100mg/V [5mL]・▼400mg/V [20mL]

【常用量】

添付文書参照

【用法】点滴静注

インラインフィルター使用

投与時間関連反応においてジフェンヒドラミンに代わり、レボセチリジンでも有効である（末廣直哉, 他: 医療薬学 49: 303-309, 2023）

【透析患者への投与方法】常用量（5）

【保存期 CKD 患者への投与方法】常用量（5）

【特徴】ヒト型免疫グロブリン G1κモノクローナル抗体で、造血器悪性腫瘍の腫瘍細胞表面に発現する CD38 抗原に結合することにより作用する。MM に対する DLd (DRd) 療法（ダラザレックス/レナリドミド/デキサメタゾン）の A 法, B 法がある。

【主な副作用・毒性】Infusion reaction, 骨髄抑制, 感染症, 腫瘍崩壊症候群, 間質性肺疾患, 貧血, 呼吸困難, 疲労,

【安全性に関する情報】

【代謝】イムノグロブリンの代謝経路で分解されると推測（1）

【排泄】分解され排泄（1）

【CL】7.14mL/hr（1）

【t1/2】68hr～（1）

【蛋白結合率】該当しない（5）

【Vd】71.74±18.14mL/kg（1）

【MW】約 148,000

【透析性】除去されないと思われる（5）

【OW 係数】

【肝障害患者への投与方法】

【小児 CKD 患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】

【主な臨床報告】AKI を伴う多発性骨髄腫例に適用することで早期に血清遊離軽鎖の低下と腎予後の改善が得られた（Kim EB, et al: Blood Adv 2025 PMID: 40085948）

C3 腎症への適用症例（Esposito P, et al: Front Med (Lausanne) 2023 PMID: 37724175）

重症 ANCA 関連血管炎への適用例（Ostendorf L, et al: RMD Open 2023 PMID: 36627149）

【備考】赤血球上の CD38 と結合し、抗体スクリーニングや交差試験等の適合性試験に干渉する。間接クームス試験、不規則性抗体測定、免疫電気泳動など、複数の検査項目に影響を与えるため注意（1）

【更新日】20250507

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。